

先端のがん治療装置

住友重、福島の病院に納入

住友重機械工業は再発・患者の治療を始めるのを目
進行がんを治療できる「ホ
ウ素中性子捕捉療法」(B
NCT)装置を福島県の総
合南東北病院(郡山市)に
納入する。病院に導入す
るのは初めて。政府と福
島県が補助金を出し、
2014年度に臨床試験
始める。薬事申請の手
続きを経て16年度に一
般産・輸出基地に育つ

事業費は70億円程度に
なる見込みで、そのうち
48億円を政府と福島県
が助成する。将来は世
界中から集まる患者と
家族が滞在できるサー
ビスを提供して地域経
済を活性化するほか、
福島県をがん治療シス
テムの生

14年度に臨床試験開始

も視野に入れている。
B N C Tは治療が難しい
再発・進行がんの細胞を
破壊できるうえ、X線な
どを使う既存の装置に
比べ、正常な細胞への影
響を抑えられるという。

住友重は京都大学とB
N C Tを共同開発し、京
大の原子炉実験所で07
年から治療の有効性や
安全性を確認する治験
を進めてきた。納入に
よって治験作業を加速
し、早期の実用化を指
す。

2012年6月2日(木)
日本経済新聞 朝刊